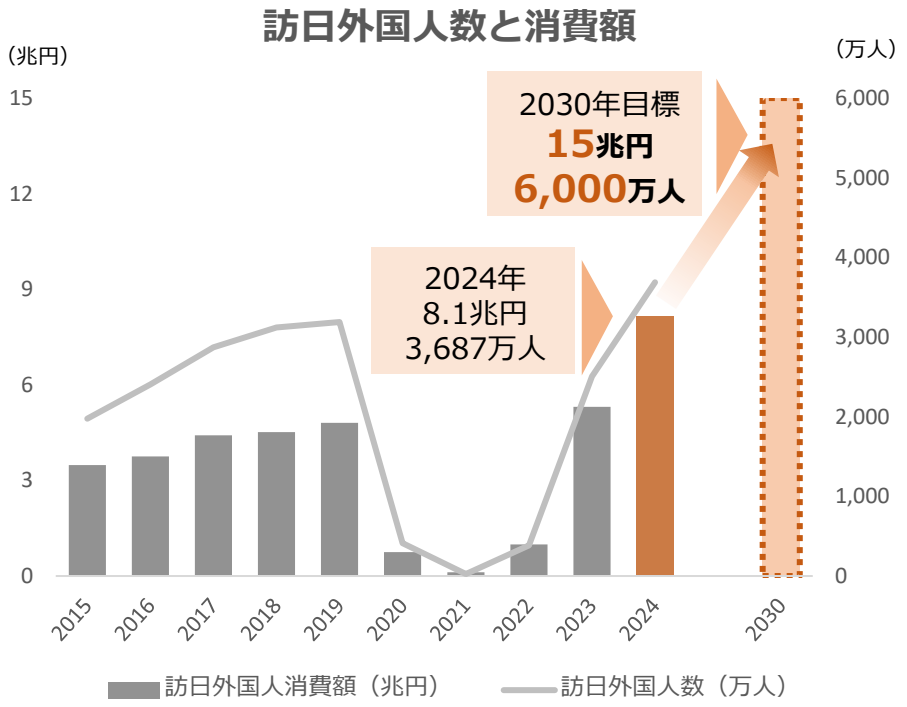
挑みつづける、変わらぬ意志で。
東京商工会議所

ツーリズムの基幹産業化実現に向けた
わが国への重点要望（概要）

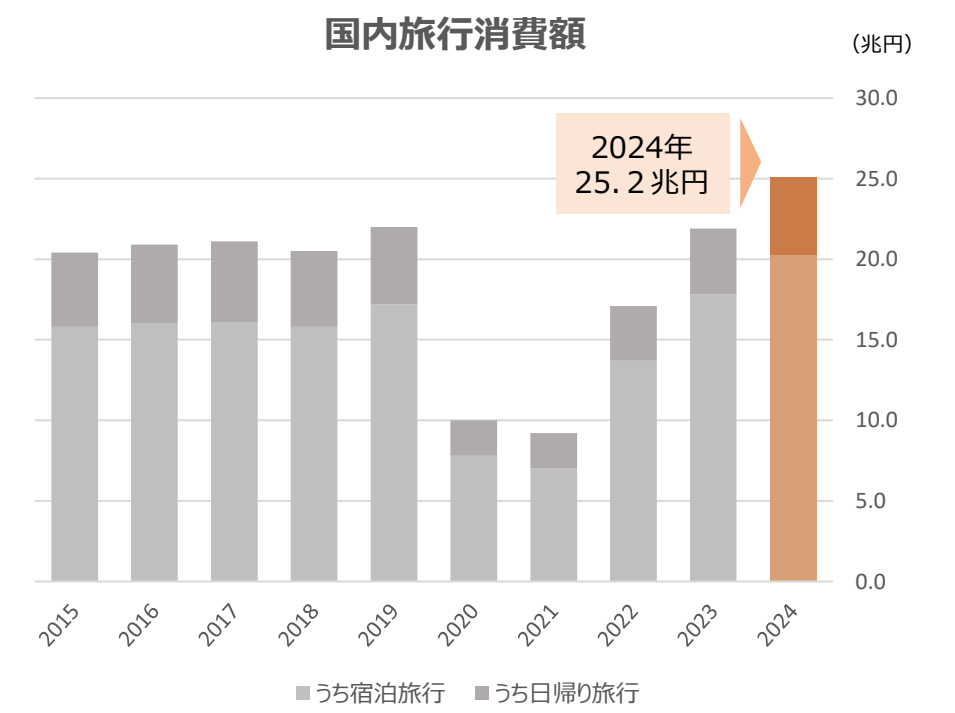
2025年6月12日

基本認識１（拡大する旅行消費額）

- 2024年は**訪日外国人数（3,687万人）、同消費額（8.1兆円）ともに過去最高を更新。**
  2025年も大阪・関西万博や世界陸上、デフリンピック等を契機に多くの訪日客を予想。
- 2030年の政府目標（**訪日外国人数6,000万人**、**同消費額15兆円**）達成には、ツーリズム産業が**成長を続けることが必要。**
- **訪日外国人消費額の３倍以上の規模**である**国内旅行消費額（25.２兆円）も過去最高を更新。**



出典：観光庁、日本政府観光局（JNTO）



出典：観光庁

基本認識２（訪日外国人数の現状）

- 人口に対する訪日外国人（国際観光客）数の割合は、欧州の観光大国だけでなくアジア諸国と比べても低く、**国全体として許容できる規模以上に多いとは言えない。**
  （※地理的条件が類似するイギリスと比較しても2倍以上の開きがある。）
- 但し、一部有名観光地に**需要が集中**し、**局地的な混雑**が発生。場所・季節・曜日・時間帯等、集中している**需要を分散**させることが課題。

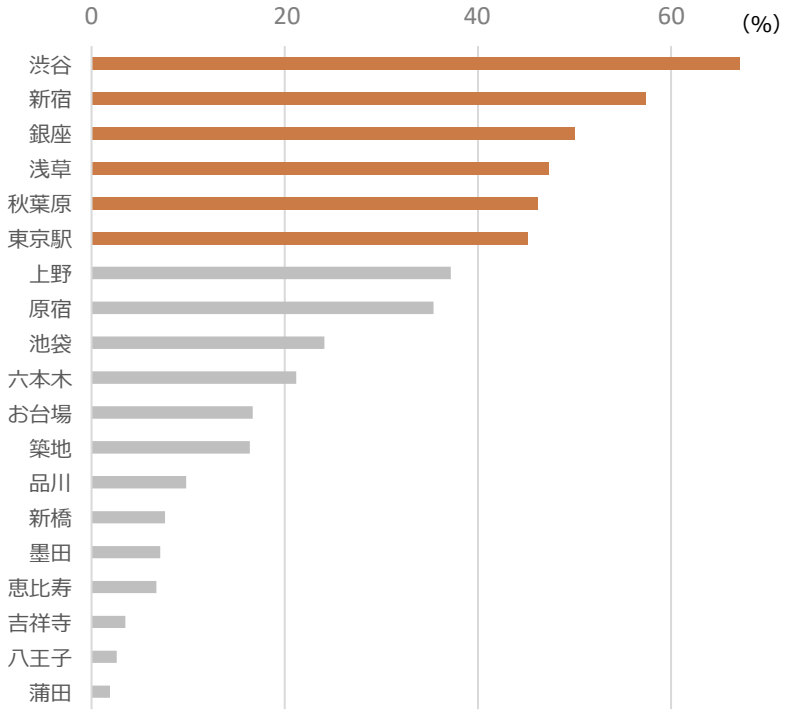
人口に対する国際観光客の割合比較

国	国際観光客数（万人）	人口（万人）	対比（%）
スペイン	8,517	4,837	176.1
フランス	10,000	6,817	146.7
スイス	1,158	885	130.8
オランダ	2,030	1,788	113.5
イタリア	5,725	5,876	97.4
イギリス	**3,722**	**6,835**	**54.5**
台湾	649	2,340	27.7
韓国	1,103	5,171	21.3
日本	**2,507**	**12,452**	**20.1**

2倍以上

出典：UN Tourism、IMF（2023年）のデータから事務局再編

都内における訪日外国人の訪問場所（複数回答）



出典：東京都「国・地域別外国人行動特性調査結果」（2024年6月）

基本認識３（世界から見た日本の現在地）

＋ 強み

- 「**文化資源（無形文化資産の数等）**」 「**健康・衛生**」「**陸上・港湾インフラ（道路網、交通機関の充実度等）**」「**安全・安心**」の指標で高評価

－ 弱み

- 「**観光サービスとインフラ（ホテル・レストランの労働生産性等）**」「**需要の持続可能性（ピークシーズンへの集中度等）**」 「**旅行・観光への開放性（ビザ発給条件等）**」の指標で低評価

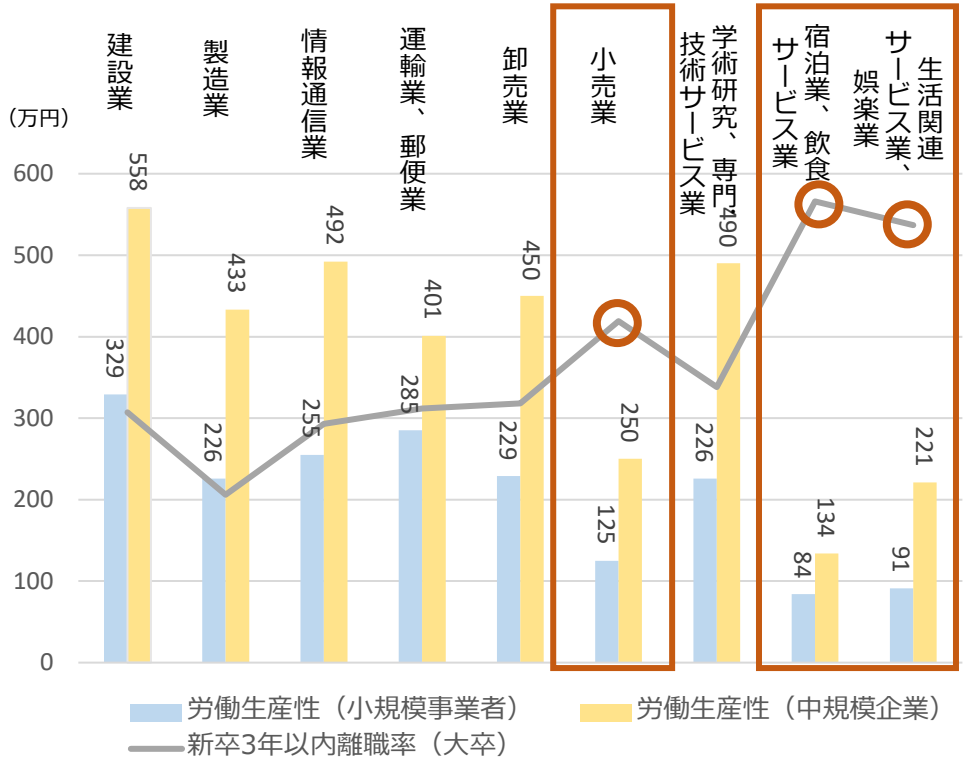
項目	日本（3）	アメリカ（1）	スペイン（2）	イギリス（7）
文化資源	6.71	5.06	6.64	5.83
健康・衛生	6.23	5.56	5.99	5.43
陸上・港湾インフラ	6.08	4.42	4.92	5.13
安全・安心	5.98	5.36	6.14	5.57
観光サービスとインフラ	2.93	5.46	5.46	4.07
需要の持続可能性	3.02	4.83	3.34	3.78
旅行・観光への開放性	4.06	4.78	5.01	4.96

出典： WEF「Travel & Tourism Development Index」（2024年5月）から事務局再編　※スコアの最大値は７、（）内の数字は総合ランク

基本認識４（ツーリズム産業を取り巻く課題）

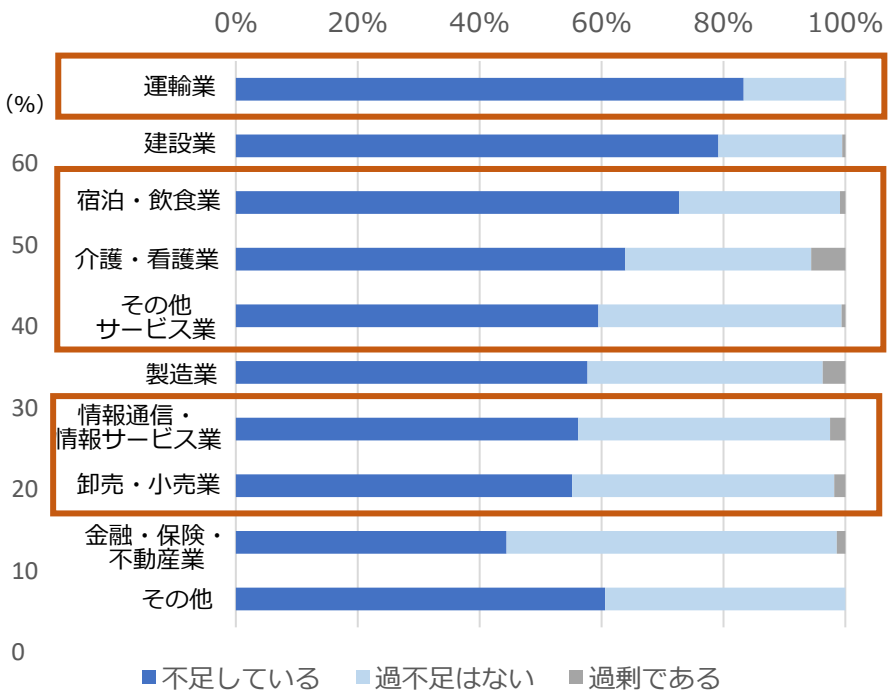
- 他産業と比較して**労働生産性の低さ、人手不足感の強さが顕著**。
- 不規則な労働環境（土日祝日の出勤や夜間勤務等）や賃金水準の低さから、従前から**離職率の高さ**が課題。
- 宿泊・飲食・交通・サービス業や、地場産業・伝統工芸・伝統芸能等の**次世代を担う人材の育成**が課題。

労働生産性・新卒3年以内離職率



出典：中小企業庁「中小企業白書」（2024年5月）
厚生労働省「新規学卒就職者の離職状況」（2024年10月）

人手不足の状況（業種別）



出典：日本・東京商工会議所
「人手不足の状況及び多様な人材の活躍等に関する調査」
（2024年9月）

本要望の構成

【重点要望】

01 人手不足への対応と次世代を担う人材育成強化

02 ツーリズム関連消費の拡大

03 集中から分散へのシフトによるオーバーツーリズム未然防止の徹底

04 観光予算の財源確保

【継続要望】

1. ツーリズムの持続可能な発展に向けた受入環境整備

2. 国際文化都市東京の実現

3. 交流人口（相互交流）の拡大

ツーリズム産業の基幹産業化

重点要望項目

０１　人手不足への対応と次世代を担う人材育成強化

人材確保育成	・外国人材等、**多様な人材が活躍できる職場環境整備**への後押し ・賃金や不規則な労働時間、休暇取得日数等、**労働環境の改善**に向けた各種施策推進 ・リカレント教育等を通じた**人材育成プログラムの維持・拡充**
生産性向上	・デジタル技術の導入、**観光DX推進**による**業務効率化・生産性向上支援**
次世代育成	・土地の歴史や地場産業、伝統芸能、伝統工芸品等への理解促進等、文化教育の拡充による**シビックプライド醸成** ・産学連携事業、インターンシップ等、**観光教育の拡充によるツーリズムの意義理解・担い手育成**の促進

都立高校への出前授業で将来のツーリズム産業を支える担い手を育成

中小企業等の主な声

ツーリズム産業全体の課題として、労働時間が長く、祝祭日も休めないため、人が集まらない。
（総合イベントプロデュース業）

ツーリズム振興のためには、職場体験やインターン等の実践経験が重要。
（商店街振興組合）

大勢働いていた職人のほとんどが引退・他界してしまった。
（革製品製造・卸業）

重点要望項目

02 ツーリズム関連消費の拡大

- 歴史、サブカルチャーを含む文化、芸術、医療、スポーツ、地場産業等の**観光コンテンツ開発**や**高付加価値化等の継続支援・拡充**
- ビジネスジェットの利便性向上やスーパーヨットの寄港環境整備等、**高付加価値旅行者向けの受入環境整備推進**
- 夜間の賑わい創出と消費に繋がるコンテンツ強化による**ナイトタイムエコノミーの活性化**
- **キャッシュレス決済促進**に向けた設備投資支援の継続・拡充

国立能楽堂

AKIBAサブカルサミット

新宿 歌舞伎町一番街

Marina del Rey

クレジットカード決済

中小企業等の主な声

観光コンテンツとして根付くには時間がかかるため、助成金は継続的な支援をお願いしたい。
（広告デザイン・イベント企画業）

キャッシュレス決済システムの導入に係る補助金が不可欠。
（インターネットコンテンツ製作業）

出典：（左上から）江戸史散歩の会HP、秋葉原観光推進協会、Go Tokyo、 Go USA.JP

重点要望項目

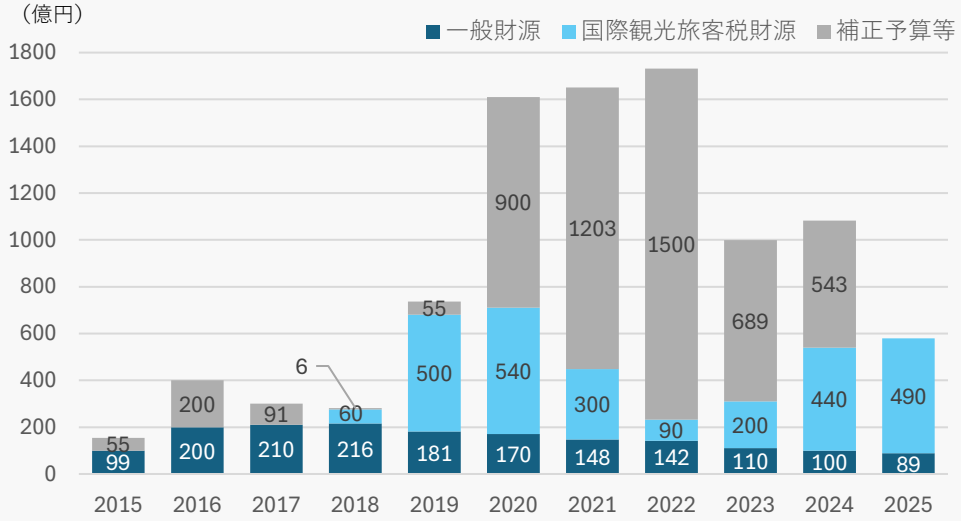
０３　集中から分散へのシフトによるオーバーツーリズム未然防止の徹底

・観光協会・地域DMO・地域連携DMOとの連携強化による局所的集中からの**分散化**促進
・広域連携DMOとの連携強化による**東京を起点とした日本各地への送客促進**
・オンライン予約システム等のデジタル技術導入による**混雑緩和**
・オーバーツーリズム対策における**好事例のさらなる発掘と横展開**の強化

０４　観光予算の財源確保

・観光庁予算に占める**一般財源の当初予算割合増加**
・**国際観光旅客税の使途も含めたあり方の見直し**に向けた議論の開始・進展

観光庁予算の推移



出典：観光庁

中小企業等の主な声

訪日外国人は浅草などの一部に集まっているだけであり、都内の回遊性を高めることが必要。（地域情報誌発行業）

人材不足は深刻で、国際観光旅客税の使途を人材育成にも広げてもらいたい。（航空運送業）

継続要望項目

1．ツーリズムの持続可能な発展に向けた受入環境整備

〔1〕住んで良し・訪れて良し・働いて良しのツーリズム実現に向けた意識醸成
- ✓ レスポンシブルツーリズム（責任ある観光）の浸透等

〔2〕都市の価値や魅力を高めるためのウォーカブルな街並み整備
- ✓ 歩行者利便増進道路（ほこみち）のさらなる普及等

〔3〕観光BCPとツーリズムを通じた被災地復興支援の体制整備
- ✓ 観光関連事業者のBCP策定推進等

2．国際文化都市東京の実現

〔1〕ナイトタイムエコノミーのさらなる活性化による消費拡大
- ✓ 官民一体となったナイトタイムエコノミーの推進等

〔2〕多様な文化・習慣等への理解と配慮の促進
- ✓ 宗教、食、生活習慣（常識）等、日本と異なる文化・習慣への理解促進等

〔3〕江戸・東京の歴史・文化の保存と継承、魅力発信強化
- ✓ 大名屋敷跡等の歴史的建造物の維持・保全に対する支援等

3．交流人口（相互交流）の拡大

〔1〕人流増加に向けた取り組みの強化
- ✓ 東京から地方への送客推進による混雑緩和と地方創生等

〔2〕国内外から日本・東京へのビジネス誘客促進
- ✓ MICE誘致・開催支援の強化等

〔3〕海外渡航需要の回復
- ✓ 海外留学支援や姉妹都市交流等、人材育成のための国際交流プログラム拡充等

挑みつづける、変わらぬ意志で。

東京商工会議所